

フイールド研の
企画展入場1000人

京大総合博物館

京都大フイールド科学教育研究センター(田中克センター長)が京大総合博物館(左京区)で二日から開いている企画展「森と里と海のつながり」の入場者が十六日、千人に達し、記念のセレモニーが行われた。

千人目の入場者は、大阪市城東区の会社員河横香織さん(29)。京都を散策中に立ち寄った。田中センター長から、ヒラメの稚魚の骨格標本などの記念品を受け取り「博物館には前から来てみたかったのですが、ラッキーでした」とニコリ。

大きなイワシクジラの頭骨、使用済みの割りばしを組んで作ったタコなどユニークな展示が人気で、同センターは八月二十九日までの会期中、一万人の入場を見込んでいる。

休館日は月曜と火曜。問い合わせは、同博物館(075・753・3272)。